

2024 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [岐阜県立恵那高等学校] 担当教諭名 [夏目 佳代子] (英会話部 20名)

相手国・地域 [メキシコ]

海外学校名 [Cecyte Jalisco Campus El Panoramico Tonalá] 担当教諭名 [Alma Rubi Soto Paez]

■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単 元 名	時間数
	部活動	アートマイルプロジェクト	80

■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Soaring into a Greener Future with Our Wings
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	<p>Let's take a stand for a brighter, greener future! Let's embrace the connection between forests and cities in order to create a symbiotic society that considers not only humans but also animals and nature. With education and strong will, we can nurture a harmonious ecosystem. Let's foster pride in our hometown. Join hands and take the first step!</p> <p>より明るく、より自然豊かな未来のために立ち上がろう！人間だけでなく、動物や自然のことも考えた共生社会をつくるために、森とまちのつながりを大切にしよう。教育と強い意志があれば、調和のとれた生態系を育むことができる。ふるさとへの誇りをもとう。手を取り合って、最初の一步を踏み出そう！</p>



■今回の取組の成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・生徒たちが、「遠く離れていて会ったこともないメキシコの生徒と、同じ課題について話し合い、一つのものをつくりあげることができた。」と達成感やつながりを感じることができた。 ・世界の課題に目を向けるとともに、自分たちの地域が抱える課題や解決に向けた取り組みについて深く学ぶことができた。また、その改善策を考えることができた。 ・森林破壊や空き家について、それぞれの国の課題や対策は違うが、意見交流を通して、生き物が住み続けられる持続可能な森をつくりたいという思いをもっていることは共通していることに気づくことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・時差の関係で、パートナー校の生徒と直接Zoomで話す機会がもてなかった。 ・学校行事や考査期間などでプロジェクトへの意識が途切れてしまうことがあり、つなげて考えることが十分にできないことがあった。

■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
<ul style="list-style-type: none"> ・メキシコについて、食べ物や音楽などのイメージしかもっていなかったが、直接交流することで、学校の様子や文化の様子を知り、理解が深まった。 ・メキシコと日本を比較して考えることで、新たな視点から自分たちが目指す住みやすい町について考えることができるようになった。 ・壁画制作を通して、お互いの国で違うことがあっても、一緒に一つのことに取り組めると感じた。 ・ニュースなどで日本やメキシコの課題、SDGsに関する報道がされていると、テーマ学習で調べたことを思い出すようになった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・パートナー校の生徒や先生から、国の現状や考えを直接伝えてもらうことで、インターネットで調べるだけでは分からない気づきや学びがある。課題についてより当事者意識が生まれ、多角的に考えられると感じた。 ・日本国内外で起こっている森林問題や空き家問題により関心をもって新聞などを読むようになった。 ・地域で行われている森林保全や木育の取り組みに興味をもち、自分でまず参加したり、生徒に案内したりした。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
調べ学習 テーマ学習	6月 ～ 9月	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介カードを作成する。 ・学校や恵那市を紹介するプレゼンテーションを作成する。 ・メキシコについて調べ学習を行い、興味をもったことについてプレゼンテーションを作成する。 ・SDGsについて学習する。 ・Goal11について学習する。(人口問題、空き家、スラムについて) ・Goal15について学習する。(森林伐採、生物多様性、放置された森林、林業について) ・Goal11、15について学んだことや調べたこと、解決に向けた取り組みをプレゼンテーションにまとめる。 ・学校祭で、メキシコについてポスターやクイズを作成し、展示する。 	<p><生徒の振り返りより></p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界では森林伐採が進んでいるが、日本や自分たちの地域では、森の荒廃が進んでいる。日本は人口減が深刻な課題だが、空き屋も増え続けている。世界と日本では逆の問題が起こっている。 ・人工林(植林)はいいことだと思っていたけれど、木を使わない事で起きる問題もあることを知った。 ・調べ学習・プレゼンテーション作成・発表を通して、さらに知りたいことや考えたいことが出てきた。 ・森林はどのように活用でき、人々の暮らしやすさにつなげることができるか、空き家問題に対してどんなことができるか考えていきたい。 	部活動30
共有 相手と意見交換	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・メキシコの現状や課題、人々の考え方を知り、日本とメキシコの共通点や相違点について話し合い、考えを深める。 ・このまま森林伐採が進むとどうなるか、森が放置されつづけるとどうなるか、影響とその原因を考える。 ・地元の企業で森の再生に取り組む方から、講話「未来に繋がる森」を聞く。 	<p><生徒の振り返りより></p> <ul style="list-style-type: none"> ・メキシコで起こっている森林伐採の原因が、世界的にアボカドの消費が増えたことでアボカドを植えるために森林が伐採されているからだということを知り、メキシコで起こっていることが日本にもつながっていることに気づいた。 ・森林伐採も放置された森林も、このままの状態が続くと、人間だけでなく、動物や植物にとっても生きづらくなってしまふことに気づいた。 ・講話を聞き、「関係人口」「食べられる森」「シビックプライド」など新たな視点で自分たちの市について考えを深めることができた。 	部活動10

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
融合 メッセージ作成	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・もし恵那市、トナラ市の市長だったら、課題解決のためにどんな政策を行うかを考え、ミニポスターにまとめ、発表し合う。フォーラムで共有する。 ・どんな未来をつくっていきたいか、望む未来を実現するために自分たちは何ができるかを考え、フォーラムで意見交流する。 ・壁画に込めるメッセージを考え、意見交流する。 ・メッセージが伝わるような壁画デザインを考え、意見交流する。 	<p><生徒の振り返りより></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国は違っても、課題解決に向けてできることについての考えは自分たちと似ていると気づいた。 ・日本とメキシコでは発生している問題は逆のことも多いけど、全員自分たちの住む地が住みやすくなってほしいという思いをもっていることが分かった。 ・空き家の活用法は自分たちが思いつかなかった案もあって新しい視点を得られた。 ・メッセージを考えたりデザイン案を考えたりするときに、メキシコ側から私たちとは異なった新しい考えがきて、それをどのようにまとめたらよくなるかを考えるのは難しかったけど、達成感があった。時間をかけてよかったと思った。 	部活動10
創造 壁画制作	12月 1月	<ul style="list-style-type: none"> ・壁画を制作する。 ・メッセージカードを作成する。 ・これまでの活動を振り返る。 ・パートナー校の壁画制作の様子をフォーラムを通して知る。 ・パートナー校への生徒へメッセージを送る。 	<p><生徒の振り返りより></p> <ul style="list-style-type: none"> ・壁画を描きながら私たちの未来が楽しみになった。次の世代に向けて働いている人たちに感謝しながらも、自分たちの世代は自分たちでつくりあげることが大切だと気づいた。活動を通して恵那市の活性化にはどうしたらよいのか考えることができ、恵那市に対してもっと貢献したいと思ったし、誇りをもてるようになった。 	部活動20
評価 振り返り 自己評価	2月 3月	<ul style="list-style-type: none"> ・パートナー校の壁画制作の様子をフォーラムを通して知る。 ・壁画の鑑賞をする。 ・学習を振り返り、自己評価を行う。 ・パートナー校への生徒へメッセージを送る。 ・全校集会でプロジェクトと壁画を紹介する。 ・「リコーえなの森」に行き、実際に森を歩いたり、保全活動について聞いたりする。 	<p><生徒の振り返りより></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ここにあった壁画が行ったことのない国にあって、実際に描いているのを見るとすごいなあと思う。 ・お互いに表現したいことを深く話し合っただesignを決めたので完成が楽しみ。 ・自分たちが描いた部分に対して、対称的になるように描いてくれている。メキシコと日本の違いもつながりも感じられる壁画が完成してうれしい。 ・両国が抱えている今の課題と、望む未来の姿を対比させてよく表すことができた。 ・身の回りや世界で起こっていることに対して、様々な角度から考える力がついた。この力を生かして、幅広い視点で物事をみることを大切にしたい。 	部活動10

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つきたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化を理解する力	5	パートナー校の生徒や先生からメキシコ文化や学校の様子を聞き、日本との違いについて驚きつつも、興味をもって調べたり背景を考えたりするなど前向きに理解することができた。
主体的に考え行動する力	4	調べ学習、プレゼンテーション作成と発表を通して疑問に思った点をさらに調べる姿が見られた。テーマについて主体的に考えることはできるようになったが、行動する力をさらに高められるようにしたい。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	パートナー校からのメッセージ案について、これまでのテーマ学習で学んできたことが十分に表せられているかどうかという視点で考え、自分たちの考えをしっかりとパートナー校の生徒に伝えることができた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	5	パートナー校と自分たちのデザイン案は重なる部分が少なかったが、どちらの意見も取り入れた新たな案を考えて提案できた。違いもたくさんあったが、そこから学ぼうとする姿勢が見られた。年間を通して、パートナー校の生徒へのメッセージを積極的に書くことができた。
想いを表現する力 (メッセージ作成・壁画制作)	5	何度も話し合いを重ね、テーマ学習で学んだことを表すことができるメッセージを考え、パートナー校の生徒の考えと合わせて一つのメッセージにするのに難しさを感じながらも、両校の生徒の思いを込めたメッセージを作ることができた。また、そのメッセージを壁画の細部に渡って表現することができた。